第2回畑崎賞 神戸で表彰式

社会貢献の5人に

大手アパレルメーカー「ワールド」（神戸市中央区）創業者の畑崎廣敏さん(78)が創設した畑崎財団の「第2回畑崎記念ファッショナブルエージング賞」の受賞者5人の表彰式が10日、神戸市内であった。年齢を重ねても健康で内面が充実した生き方の実現に向け、社会貢献に取り組む個人や団体を顕彰。健康づくり▽知的活動▽社会奉仕活動―の3分野で推薦のあった36団体・個人の中から選ばれた。

健康づくり部門で選出された神戸市兵庫区の産婦人科医、中野篤さん(87)は、独居男性に交流の場を提供しているほか、長年にわたり市民向けの健康医学講座も開いてきた。「誰かのために何かをするのが生きがい。そのことを評価してもらいうれしい」と喜びを語った。

畑崎さんは「自分ができることを長く地道に続ける努力には頭が下がる思い。受賞を契機に、さらに活動の幅を広げてほしい」とたたえた。（片岡達美）

このほかの受賞者は次の通り。（敬称略）

健康づくり分野＝西播断酒会顧問、井口みさゑさん（宍粟市）▽知的活動分野＝杉原紙研究所技術顧問、井上正康さん（兵庫県多可町）▽社会奉仕活動分野＝人生80年時代を模索する会会長、二見治子さん（西宮市）、地域で独居高齢者の見守り活動を行う下村英規さん（養父市）

賞状を受け取る産婦人科医の中野篤さん＝神戸市中央区御幸通8、神戸国際会館

安藤忠雄さんにイタリアの勲章

両国の文化交流に貢献

建築家の安藤忠雄さん(73)が10日、東京都港区のイタリア大使館で、同国の功労勲章「グランデ・ウッフィチャーレ」を受けた。建築界での長年の実績や、日伊両国の文化交流への貢献が評価された。同大使館によると、日本人建築家の受章は丹下健三さん(故人)に続いて2人目という。この日の授章式には、京都大の山中伸弥教授や服飾デザイナーの森英恵さんら各界の100人が駆け付けた。

安藤さんは「1965年にローマのパンテオンを見たことが、建築家を志すきっかけだった。その国から勲章をいただけるのは大変光栄です」とあいさつした。

安藤さんは兵庫県立美術館や姫路文学館、兵庫県立こどもの館など、県内での作品も数多い。（山本哲志）

ドメニコ・ジョルジ駐日大使から勲章を贈られ、笑顔を見せる安藤忠雄さん(左)＝東京都港区、イタリア大使館

新しい県警へ

パトロールや山岳救助などで活動する、兵庫県警のヘリコプター「フェニックス」の後継機＝写真＝が配備され、10日、大阪（伊丹）空港の県警航空隊格納庫で就航式があった。県警幹部や航空隊員ら約30人が参加した。

航空隊は「ひよどり」「フェニックス」の2台のヘリコプターを備え、2基のエンジンを備えると。開口部も広くなり、初代機に比べ救助者や負傷者の収容などが容易になったという。

式典では航空隊員が、機体の概要などを説明。続いて、古塚清徳航空隊長が「装備を最大限に発揮し、県民の安全安心を守りたい」と決意を述べた。（太中麻美）

地域版から

最後の9人が巣立つ

但馬 3月末で統合のため閉校となる豊岡市竹野町の森本中学校で、68期生となる最後の3年生が卒業した

養殖カキを漏れなく収穫

西播 養殖中のカキの海底落下を防ぐ装置を、室津漁協（たつの市）の養殖業者らが考案、農水大臣賞を受けた

新人バスガイドが入社式

姫路 神姫観光バス（姫路市）のバスガイドの入社式が姫路市であり、6人が社会人生活のスタートを切った

震災時の出産、いつか伝える

北播 東日本大震災当日、病院で地震に遭い、9日後に双子を出産した小野の女性。感謝を胸に成長を見守る

体験農園を楽しんで

三木 口吉川町の里脇観光ぶどう園内に4月1日、貸農園「里脇ファームランド」が開園。地元農家が栽培指導

イカナゴのシンコ漁が最盛期

東播 イカナゴのシンコ漁が播磨灘で最盛期を迎え、高砂市の伊保漁業協同組合では水揚げ、出荷と大忙し

まちかど スナップ

姫路市夢前町宮置

福島の高校生が被災体験語る

明石 東日本大震災で被害を受けた福島県の高校生3人が明石西高を訪れ、当時の様子や将来への決意を語った

島の魅力を世界に発信

淡路 淡路島の魅力をPRする第35代クイーン淡路に楠真里亜さん(21)と古井夕貴さん(20)が選ばれた

災害支援のお礼兼ね東北へ

丹波 丹波のボランティア団体が東日本大震災の被災地支援で宮城へ。豪雨災害で助けてくれた人たちと再会